

## 日米若手クリエイター交流 第4弾 若手アーティスト米国派遣事業 次世代を担う期待の若手アーティスト 米国で現代美術作品を発表

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、クール・ジャパンの主要分野であるファッション、デザイン、アニメ、アートの4分野を対象とした「日米若手クリエイター交流」事業を2014年度から実施しています。2014年11月にはその第4弾として、現代美術における若手登竜門的な賞のVOCA展入賞者を含む、今後更なる活躍が期待される日本人若手アーティスト5名を、米国へ派遣します。

今回は7日間の日程で、世界的なアートの中心地であるニューヨークとロサンゼルスを訪ねます。現地の著名美術館やギャラリー、アートスタジオ等を訪れ、米国の若手アーティストや関係者と交流を行い、日米間のネットワーク形成を図ります。また、ジャパン・ソサエティにて、参加者の作品を紹介するプレゼンテーションイベント「日米アートクリエイターセミナー」を開催します。彼らの作品を通して、日本文化の魅力を発信し、米国において日本的な「価値」への理解や関心が深まることを期待しています。次世代を担う期待の若手アーティストたちの米国での奮闘振りを是非ご取材いただけますと幸いです。ご取材についてはお問い合わせください。

### 日米若手クリエイター交流 派遣事業 第4弾 概要

【派遣期間】： 11月9日(日) ~ 11月15日(土)

【米国訪問先】： ニューヨーク(ニューヨーク州)・ロサンゼルス(カリフォルニア州)

【活動内容】： ジャパン・ソサエティでのパブリックプレゼンテーションイベント  
米国美術関係者とのネットワーク形成及び意見交換  
主要美術館、ギャラリー、スタジオ等美術関連施設 訪問

【参加者】：



ともまさ まり子  
友政 麻理子



くぼ がくたん  
久保 ガエタン



かがふ しほ  
利部 志穂



ごとう やすか  
後藤 靖香



なかむら ゆうた  
中村 裕太

様々なメディアを駆使しながら、一貫してコミュニケーションについて鑑賞者に問いかける現代美術家。VOCA 展入選をはじめ数多くの個展・グループ展を開催。

オカルトや妄想、都市伝説など、近代社会の外部に位置づけられている要素を、ダイナミズムを持って表現する美術家。ソニー・ムービーワークス 2006 特別賞、群馬青年ビエンナーレ奨励賞等受賞。

空間と物と人間の関係について、斬新な表現をし、現代美術の新境地を切り開く可能性を秘めた専門性を持った作家。国立新美術館「アーティスト・ファイル 2013」等。

入念なりサーチの上で、ドラマチックな構図で、戦争体験や過酷な時代を生きた人々を表現する画家。2008年岡本太郎芸術賞入選はじめ、数多くの賞を受賞。

陶芸出身の美術家。陶芸というフィールドの歴史を自覚的に参照しながら、日本の近代化の過程に潜んでいた諸矛盾をあぶりだすような作品制作をしている。

本事業は、日本政府(外務省)が推進する"KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow- (北米地域との青少年交流)"の一環として実施しています。  
国際交流基金 KAKEHASHI ウェブサイト <http://www.jpff.go.jp/j/intel/youth/index.html>

主催者・本事業に関するお問い合わせ： 青少年交流室 (担当: 林)

Tel: 03 - 5369 - 6022 / E-mail: [Yoshiko\\_Hayashi@jpf.go.jp](mailto:Yoshiko_Hayashi@jpf.go.jp)

取材に関するお問い合わせ： コミュニケーションセンター (担当: 川久保、麦谷)

Tel: 03 - 5369 - 6089 / Fax: 03 - 5369 - 6044 / E-mail: [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp)

